

Brambles

継続的な開示とコミュニケーション方針 (Continuous Disclosure and Communications Policy)

Brambles Limited

制定: 2020年1月1日

バージョン 2.0

継続的な開示とコミュニケーション方針

1. 序文および背景

Bramblesは、その力が及ぶ限り投資家の信頼を勝ち得るような取り組みをしており、効率的かつ情報に基づいて証券取引がマーケットで行われるようにします。

Bramblesは、効果的なコミュニケーションが株主の価値構築の重要な部分であり、また、繁栄し成長を達成するには、コミュニケーションにおいてオープンになり、コミットメントを一貫して果たすことで、(特に)証券保有者、従業員、顧客、サプライヤーおよび地域社会の信頼を得る必要があることを認識しています。

2. 目的の声明

本方針の目的は以下の通りです。

- (a) 継続的な開示義務へのBramblesのコミットメントを強化し、コミットメントによって実施されるプロセスを説明してこれらの義務の順守を確保する。
- (b) Bramblesのコーポレートガバナンスの基準および関連プロセスを概説し、Bramblesに関する時宜を得た正確な情報が、全ての株主とマーケット参加者に平等に提供されることを確保する。
- (c) 株主総会への株主参加を効率的に促進することへの、Bramblesのコミットメントを概説する。

3. 継続的な開示

Bramblesはオーストラリア証券取引所 (ASX) に上場しており、ASX上場規則(「上場規則」)およびCorporations Act 2001 (2001年会社法)に含まれる継続的な開示義務の順守を義務付けられています。Bramblesは本方針で概説されている手順およびプロセスを策定し、関連する継続的な開示義務を全て確実に順守します。

また、Bramblesは、利害関係者との効果的なコミュニケーションを非常に重要視しています。本方針には、利害関係者とのコミュニケーションに関してBramblesが採用する統一されたコーポレートガバナンス基準が含まれています。

3.1 継続的な開示へのコミットメント

Bramblesは、証券の価格または価値に重大な影響を及ぼすと一般的に予測できるBramblesのビジネス状態または財務状態に関連する情報または重要な進展について、即座にマーケットにアナウンスします。

マーケットへの開示が必要となる可能性のある情報の種類の例として以下が含まれますが、これらに限定されません。

- (a) Bramblesの実績または予測される財務状況における重大な変更
- (b) 重要な買収または資産の処分
- (c) Bramblesグループ企業に係る重要な新規契約
- (d) Bramblesグループ企業に影響または関連する重大な事項(業務の変更、上級幹部の変更、天災などを含む)
- (e) 重要な訴訟の開始または解決
- (f) Bramblesの証券価格の10%以上の影響を与える可能性のある事項または取引
- (g) Bramblesが収益予想を公開した場合、Bramblesの収益において、その収益予想の10%以上の予測変動がある場合

上述の(f)および(g)項に関連して、事象、取引、または予測変動(関連する場合)が5%以下である場合、これは一般に、重大ではないものとみなされます。さらに、事象、取引または予測変動(関連する場合)が5%~10%である場合、Bramblesは問題が重要であるかどうかに関して判断を下し、適宜開示が必要になります。

これはASXへの通知を通してマーケットに伝えられます。

特定の状況では、上場規則により、Bramblesが重要な情報を開示しないことを許可されることもあります。

取締役会は開示委員会 (Disclosure Committee) を設立しました。この委員会は、重要な情報を見直し、開示する必要のある情報を決定して、Bramblesによる開示義務の順守を確保します。

3.2 開示委員会

開示委員会は、Bramblesによる本方針の順守を管理します。委員会は、報告プロセスの実施に責任を負い、情報公開のガイドラインを管理および決定します。

開示委員会のメンバーは以下の通りです。

- (a) Brambles CEO
- (b) Brambles CFO
- (c) Bramblesグループ総務責任者
- (d) Bramblesの委員長 (chairman)。委員長が対応できない場合は、監査委員会会長。監査委員会会長が対応できない場合、その他の非幹部のディレクター。

3.3 開示する情報の特定に対する責任

Bramblesは世界中で業務を遂行しています。開示可能な情報を収集するために、開示委員会は、以下に対する開示に係る責任者 (Disclosure Officer) が確実に指名されることに対して責任を負います。

- (a) 各「事業部」
- (b) 財務および資金関連職務
- (c) 法務および秘書関連職務
- (d) 人事
- (e) グループのリスク

本方針の目的として、事業部とは、パレット、BxB Digital、Kegstar関連の部門を指し、Bramblesの幹部リーダーシップチームなどのその他のBrambles事業部が、適宜決定を行います。

開示に係る責任者は、自らの事業部または職能的責任領域の活動に関する重大な事象に気付いた場合は、即座に当該情報を開示委員会に提供する責任があります。

3.4 ASX とのコミュニケーション

総務責任者は、ASXとのコミュニケーションに責任を負います。

4. コミュニケーションに関する主要コーポレートガバナンス基準

4.1 全般

Bramblesは、以下を確保することを目的とした、コーポレートガバナンスの枠組みを採択しました。

- (a) 財務状態、業績、所有権、戦略、活動およびガバナンスを含む、Bramblesに関する時宜を得た正確な情報が、全ての株主およびマーケット参加者に平等に提供される。
- (b) 時宜を得た、公正かつ費用効果的な情報を広めるための手順を採用する
- (c) 会議に出席できない株主のために、情報へのアクセスを改善するための措置を講じる
- (d) 継続的開示義務に従って全ての株主およびマーケット参加者に開示する前は、重要な株価に影響を与える情報、または株価に影響を与える情報を外部関係者には伝達しない。継続的開示義務に従い、特定の制限付きの例外がこの条件に適用される場合がある

これらのコーポレートガバナンス基準を実施するためにBramblesが採用した具体的なプロセスを以下に説明します。

4.2 ウェブサイトでの開示情報の伝達

ASXに関する重要な情報は全て、ASXによる受領の確認後、できる限り早急にBramblesウェブサイトに掲載されます。

Bramblesのウェブサイトアドレス: www.brambles.com

4.3 電子的通信および株主総会

Bramblesは株主との通信を行う際に、全ての株主が電子的通知を受信できるようにし、また、通信をBramblesまたはその株登記簿に送信するオプションも株主に提供します。Bramblesはまた、ASX通知またはその他のマスコミ発表があった場合に、ウェブサイト上で投資家がアラートを受信できる機能を投資家に提供します。

Bramblesは年次総会を利用して、会社の財務状態、業績、責任、戦略と活動に関する情報を株主に伝え、全ての総会で、十分な情報を得た上で参加する適度な機会を株主に与えます。Bramblesは全ての株主総会をウェブキャストし、株主が直接投票を行う、あるいは株登記簿を通して代理人を電子的に指名することを可能にします。

株主総会以外では、総務責任者が株主の問い合わせに対応します。

4.4 指定された広報担当者

Bramblesまたはその事業部の代理で、あるいはBramblesまたはその事業部に起因して公式声明を行う権限のあるBrambles従業員の詳細を以下に説明します。他の従業員はそのような声明を行う権限はありません。公式声明には、主題がBramblesに関係する、ソーシャルメディアまたはソーシャルネットワーク技術を通じた通信が含まれます。これらの通信には次が含まれますが、これらに限定されません：同僚間の会話およびチャットルームを通じたコンテンツの交換、掲示板、ブログ、Wiki、ウェブキャストおよびポッドキャスト。

(a) マスコミおよび出版物:

(i) 会社の問題については、権限のある人物は以下に限られます。

- Brambles会長
- Brambles CEO
- Brambles CFO
- Brambles投資家向け広報および会社業務担当バイスプレジデント

また、以下の人物も含まれます。

- 上記人物のいずれかによって正式に指名および明確に権限を与えられた外部マスコミ関係コンサルタント
- Brambles CEO またはCFOによって権限を与えられたその他の人物

(ii) グループのプレジデントおよび事業部の地域プレジデントは、Bramblesにとって重要な意味合いを持たない（事業、財務、マーケット、評判、またはその他の観点から）地域業務に関連する問題に関してマスコミの問い合わせに対応する権限があります。Bramblesまたはそのいずれかの事業部に関する以下のいずれかの事柄に関連する問い合わせに応じて、いかなる情報についても論じることはできません。

- 財務実績または見通し
- 事業または財務戦略（潜在的な買収や投資撤収を含む）
- 競合他社（競争環境を含む）
- 企業活動
- クレーム、訴訟または賠償責任
- 会計または財務報告書に関する事柄
- コーポレートガバナンス、または方針に関する事柄
- 政府の政策または法の改革

上記制限を違反する、Bramblesおよびあらゆる声明の言及またはBramblesおよびあらゆる声明に関する議論は、Brambles CEO、CFO、またはグループの投資家向け広報および会社業務担当バイスプレジデントと共に、事前に疑いを晴らしておく必要があります。あらゆる公開（インターネットを介して情報へのアクセスを可能にすることを含むが、これに限定されない）は、本方針の目的に関して、マスコミとの通信としてみなされ、内容と事前承認の要件に関して上記制限の対象となります。

(iii) 上記の(ii)で具体的に参照された事柄を含む、Bramblesの企業に関する問題、あるいはBramblesにとって重大な意味合いを持つ（事業、財務、マーケット、評判またはその他の観点から）事柄に関する報道が含ま

れる可能性のあるラジオまたはテレビインタビューへの参加の際は、Brambles CEO、CFO、またはグループの投資家向け広報および会社業務担当バイスプレジデントと共に、事前に内容を明らかにしておく必要があります。

(b) 投資家向け広報:

権限を持つ人物は以下に制限されます。

- Brambles会長
- Brambles CEO
- Brambles CFO
- Brambles投資家向け広報および会社業務担当バイスプレジデント
- 取締役会によって権限を与えられたその他の人物

4.5 風評およびマーケット投機

第3.1項に従い、その義務を条件として、Bramblesは風評やマーケット投機に対するコメントは行いません。

4.6 取引停止

秩序があり、公平で情報に基づいてマーケットでの取引が行われるよう、特別な事態においては、ASXでの取引停止を求めることが必要になる場合があります。開示委員会は、Brambles CEOと相談して、取引停止に関する全ての決定を行います。可能であれば、会長もまた、そのような取引停止に関して相談を受けます。

4.7 禁止期間

Brambles は、年度の特定の時期に「禁止期間 (Prohibited Periods)」を設け、この期間は、ディレクター、主要経営管理スタッフ、特定の従業員および彼らに関連する人物 (証券取引方針において定義された「指定された対象者」) は、Brambles 証券の取引を禁じられます。本方針の目的は、指定された対象者が保有している、または保有していると考えられる可能性のある、通常は利用できない株価に影響を与える情報を不正利用しないこと、および不正利用の疑いを受けないようにするためです。

禁止期間:

- (a) クローズ期間 (関連する財務報告期間の終了から、半期または年次業績の予告までの期間)、あるいは
- (b) 指定された対象者がその存在に気付いていないとしても、事柄に関連して非公開の株価に影響を与える情報が存在する場合に、Bramblesによって適宜課される指定された対象者が、Brambles証券の取引を禁じられる追加期間。

事前計画された取引更新の2週間前が禁止期間になります。

4.8 クローズ期間の制限

「クローズ期間」中、Bramblesは、マーケットにおける範囲と平均推定を承認する目的以外で、アナリストの収益予測に対するコメントをせず、情報がマーケットに既に公開されていない限り、Bramblesの財務実績に対するコメントを行いません。Bramblesは背景情報のリクエストに対する対応を続けますが、「クローズ期間」中はアナリストや投資家に会うことはありません。

「クローズ期間」中、Bramblesは、継続的開示義務の対象であり続け、第3.1項に従って義務付けられる発表を行う場合があります。

4.9 財務日程

Bramblesは、会社の財務実績と業務実績に関して、マーケットへの定期的な開示日程に従います。ウェブサイトに掲載されている日程には、半期決算および本決算の公開に関する日付の事前通知、その他の財務情報、株主総会、主要アナリストと投資家の簡単な説明、Bramblesの重要な投資会議への関与などの情報が含まれています。可能

な場合、Bramblesはこれらの重要なグループ・ブリーフィングをウェブキャストし、その場合は、ウェブサイトを経由したアクセスの詳細およびASXの発表を事前通知します。ウェブキャストは、その後Bramblesのウェブサイトにも掲載されます。

Bramblesの財務日程およびウェブキャストには、ウェブサイト (www.brambles.com) でアクセスできます。

これらのブリーフィングおよび会議では、

- (a) 第3.1項に説明された種類の情報は、マーケットに以前公開されていない限り、開示されません
- (b) 第3.1項に説明された種類の重要な情報が不注意に公開された場合、それは即座にASXに公開され、Bramblesのウェブサイトに掲載されます

4.10 アナリストと投資家のブリーフィング

Bramblesは、投資家とアナリストの関係の重要性を認識しています。

Bramblesは適宜、アナリストと投資家に対しブリーフィング(簡潔な報告)を行います。この場合、以下の規約が適用されます。

- (a) 第3.1項に説明された種類の情報は、マーケットに以前公開されていない、または同時に公開されない限り、これらのブリーフィングで開示されません
- (b) 第3.1項に説明された種類の重要な情報が不注意に公開された場合、それは即座にASXに公開され、Bramblesのウェブサイトに掲載されます
- (c) 第3.1項で説明された種類の重要な情報を扱うブリーフィングでの質問は、以前開示されていない場合、回答されません
- (d) 最低2人のBrambles代表者が全てのブリーフィングに出席し、そのうちのひとり、通常、投資家向け広報のメンバーであり、ブリーフィングの記録を内部使用のために保持します。この記録には、話し合われた問題の要約、出席者(必要に応じて名前または人数)の記録、および会議の時間と場所が含まれます
- (e) Bramblesは、プレゼンテーション資料のコピーをBramblesウェブサイトに掲載します
- (f) グループ投資家ブリーフィングの日程の事前通知がウェブサイトに掲載され、ASXによって通知されます。可能な場合、これらのブリーフィングはウェブキャストされ、Bramblesのウェブサイトを通してアクセス詳細が提供されます。ウェブキャストは、その後Bramblesのウェブサイトにも掲載されます。

4.11 アナリストの報告および見積もり

Bramblesは、表現された見解や提案に関係なく、投資コミュニティによる積極的かつ堅固な分析を推奨し、一貫性のあるアクセスと取り扱い方針が適用されます。

Bramblesはアナリストの研究報告書をレビューする場合がありますが、Bramblesに関係のない事柄、またはBramblesが以前開示した資料に対するコメントは制限します。

第3.1項で概説された種類の情報は、マーケットに既に公開されていない限り、Bramblesによって提供されません。

上記に従い、以下の限度において、Bramblesはアナリストの収益予測にコメントをする場合があります。

- (a) 現在の予測範囲の承認
- (b) アナリストの予測が現在のマーケット範囲予測と大幅に異なる場合(すなわち、Bramblesが認識するマーケット範囲予測、および外部で予測されたコンセンサスの数字に基づき)、アナリストの想定または感度に関して質問する
- (c) データが既に公有財産である場合、事実誤認を報告する

4.12 コンサルタントおよび専門的アドバイザー

Bramblesは、Bramblesまたはその子会社の代理で仕事に従事するコンサルタントまたは専門的アドバイザーに対して、本方針の順守を義務付けます。

4.13 違反

本方針の不順守は、特に継続的な開示に関して、適用される法律または上場規則、またはその他の規制の違反につながる場合があります。これはまた、従業員の守秘義務の違反を伴う場合があります。

これによってBramblesの法的責任が発生する場合があります、さらに、ディレクターおよび役員に対する個人的処罰につながる場合があります。本方針の違反により、重大な場合には解雇を含む懲戒処分が取られる場合があります。

4.14 レビュー

取締役会は、年1回本方針を評価し、Bramblesの開示義務に従った、正確かつ時宜を得た開示の確保において、方針が効果的かどうかを判断します。

4.15 追加情報

Bramblesの継続的な開示およびコミュニケーション方針に起因する質問がある場合は、以下に挙げられた人物のいずれかに連絡することができます。

- 法務責任者およびグループ総務責任者
- 投資家向け広報および会社業務担当バイスプレジデント